

平成31年度事業計画

基本方針

三沢市は現在、高齢化率 24.65%と前年比で 0.67%の増となっている。

これは、青森県の平均 30%を下回っているとはいえ、当地域にも少子高齢化が確実に進行してきていることを表すものであります。

このことから、働く意欲のある高年齢者が活躍し続けることが出来る「生涯現役社会」を実現するための受け皿であり、多様な就業機会を提供することが出来る、シルバー人材センター事業の重要性がより一層高まるものであります。

また、働くことを通じて、健康で生きがいのある生活の実現、地域社会の福祉の向上と活性化に貢献できるよう「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、地域に根付き親しまれるセンターを目指し、事業の推進に取り組んでまいります。

平成31年度 事業目標

受託事業		労働者派遣事業	
会員数	250人以上	受託件数	10件以上
就業率	90%以上	就業延人員	650人日以上
就業延人員	23,500人日以上	契約金額	6,000千円以上
契約金額	114,000千円以上		

事業実施計画

1 就業機会提供事業

(1) 就業機会の提供

三沢市内の高年齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに貢献する事業として、臨時的かつ短期的な仕事又はその他軽易な業務に係る仕事を一般家庭・民間企業・官公庁等から請負又は委任により受注し、会員の経験と知識を生かせるよう考慮し提供します。

(2) 有料職業紹介事業

臨時的かつ短期的な雇用又はその他軽易な業務に係る雇用を希望する60歳以上の定年退職者等を対象に、公益社団法人青森県シルバー人材センター連合会と連携し、法令を遵守した有料職業紹介事業を行います。

(3) 労働者派遣事業

新たな就労先の開拓に取り組み、臨時的で短期的な業務や軽易な業務に係る派遣労働を希望する会員を対象に、公益社団法人青森県シルバー人材センター連合会と連携し、法令を遵守した適正な労働者派遣事業を行います。

2 就業機会確保事業

(1) 安全・適正就業事業

事故や怪我のない安全な就業は、本事業の最重要課題であり、会員個々の健康管理や危険に対する意識の高揚が必要であります。

そのため、安全委員会を開催し事故防止策の発信、安全パトロールの強化と就業現場巡回時における安全指導の強化を図り、事故ゼロを目指します。

適正就業については、法令を遵守した適正な受注・就業に努め、就業機会の均等を図りながら、請負・委任に適さない受注は労働者派遣又は有料職業紹介で対応し、就業機会の公平化と適正化を図るとともに、ローテーション就業の徹底、長期就業の解消にワークシェアリングの推進に努めます。

また、未就業会員の実態を把握し未就業ゼロを目指します。

(2) 普及啓発事業

ア.普及啓発

シルバー人材センターに少しでも興味・関心を持つ企業や個人を獲得するため、市の広報紙やマックTV及びパンフレット等を活用した積極的なPR活動を行い、シルバー人材センター事業への理解を図り普及啓発に努めます。

また、シルバーの日をはじめ、みさわ漁港まつり、社協まつり等へのボランティア活動を通じて、地域に密着したシルバー人材センター事業の推進に努めます。

イ.会員の拡大

会員の増強は当センターにおける緊急課題であり、役職員による勧誘活動・広報活動のほか、会員による口コミ・紹介等の協力を仰ぎ、センターが一丸となって募集活動を推し進めるほか、公益社団法人青森県シルバー人材センター

連合会が行う「高齢者活躍人材確保育成事業」と連携し会員の拡大に努めます。

また、毎月2回の入会説明会（第2・4水曜日）を開催し、シルバー事業への理解をいただき新規会員の拡大に努めます。

（3）就業開拓提供事業

就業機会の拡大を図るため、当地域の特性に合った就業分野の開拓及び人手不足分野での就業機会の提供に努めます。

また、会員の希望職種を把握するアンケートを実施し、会員の希望・知識・経験等に沿った就業を全会員に提供できるよう努めます。